

2024 年 12 月 18 日
インタラクティブ・システム・デザインレポート

インタラクティブ・システム・デザイン 期末課題

情報経営システム工学分野 B3

学籍番号 : 24336488

氏名 : 本間三暉

1 デザイン解の形式として可能なものを，3 個，あげなさい（各 20 文字以内）

1-1)

- メニュー選択形式 (8 文字)
- 音声入力形式 (6 文字)
- ジェスチャ操作形式 (9 文字)

1-2)

- タスク分析に基づく選択 (12 文字)
- ユーザビリティ重視の選択 (14 文字)
- 環境適応型選択 (9 文字)

1-3)

- プロトタイプ評価 (9 文字)
- ユーザニーズ調査 (9 文字)
- タスク遂行観察 (8 文字)

2 そして、どのように選択を行うのか，また，その選択を行うのに問題定義の他の側面（「ユーザ」と「支援のレベル」）が寄与するのかについて検討しなさい

2)

デザイン解の選択はユーザビリティとタスクの性質に基づき行う．例えば「ジェスチャ操作形式」は直感的だが，操作環境が制約される場合に不適となる．ここで問題定義の側面「ユーザ」と「支援のレベル」が寄与する．タスク遂行中のユーザ特性や要求される支援のレベル（例：迅速性や正確性）がデザイン形式を選ぶ基準となる．また，インタラクティブシステムの評価を通じ，最適な解を導出するプロセスが必要である．(193 文字)

参考文献

- [1] インタラクティブ・システム・デザイン資料